

すくも
自主防災会だより
第10号

高砂地区の自主防災活動
について



高砂地区では、南海トラフ巨大地震対策として、防災備蓄倉庫を独自で購入し、福祉センター屋上に追加設置いたしました。



雨天時の対策として、ブルーシートをロープと竹を使って屋上に張れるように準備しました。



防災備蓄倉庫には、約200人分(1日分)の保存水、保存食(リッツ・えいようかん)、防寒シートを購入し、備蓄しています。



また、片島地区と協議して、片島の高台に設置してある倉庫の備蓄品(水・食料など)を共同で使用させていただくようにいたしました。

高砂防災会

高知県下一斉避難訓練

今年も高知県下一斉で、南海地震に対し、「避難する」意識を高めるため、避難訓練を実施します。

実際に住民の皆さんに避難行動をとっていただき、経路、場所、施設を確認して、万一の「災害」に備えていただくことが目的です。

皆さんご参加、ご協力をお願いします。

日時

8月31日(日)

午前9時ごろ(予定)

※災害の発生または恐れのある場合や天候などにより、中止となる場合があります。

内容

沿岸地域においては、大津波警報を合図に、沿岸地域以外については、緊急速報の訓練メールを合図に、最寄りの避難場所へ避難していただきます。



ゆうどうくん
©やなせたかし

本日のサイレンや緊急メールとお間違えのないように!

被災宅地危険度判定とは

被災宅地危険度判定とは、大規模な地震や大雨などのために、宅地が広範囲に災害を受けた場合に、宅地の被害状況を迅速かつ的確に把握するとともに、住民へ情報を提供し、二次災害の軽減・防止を図ろうとするものです。危険度判定の結果は危険度に応じ3つに区分され、次のステッカーを現地の見やすい場所に貼ることによって、当該宅地の所有者だけでなく近隣住民、付近を通行する方にも注意を呼びかけます。住民の皆さんには、制度へのご理解・ご協力をお願いします。



危険宅地
この宅地に入るとは危険です。



要注意宅地
この宅地に入るとは十分に注意してください。



調査済宅地
この宅地の被災程度は小さいと考えられます。

8月は「電気使用安全月間」です

夏は水を使う機会が多い上に、暑さで汗をかきやすくなるため感電事故が多く発生しています。ぬれた手でプラグやスイッチを触ると感電する恐れがあります。

電気製品を扱うときは、忙しいときでも、手をよくふいてから取り扱う習慣を付けましょう。

電気安全のご相談は、お気軽に下記までご連絡ください。



【問い合わせ先】
高知支部 (中村事業所)
☎(0880)-34-6431

